

山形県内の直轄国道における雪崩緊急点検結果について

平成25年2月18日（月）～20日（水）・28日（木）、3月1日（金）の5日間、山形県内の国道13号・47号・112号・113号において、専門家と合同の雪崩緊急点検を実施した結果、今回の点検においては雪崩発生危険性の高い斜面は確認されませんでした。また、早急な対策が必要な斜面は確認されませんでした。しかし、専門家による考察を踏まえて堆雪ポケットの確保等必要な対応を行うとともに、継続して目視点検等を実施することとしております。

なお、今後とも降雪や路面凍結等が予想されますので、引き続き安全運転にご協力をお願いします。

○点検実施日： 山形河川国道事務所 平成25年2月18日（月）・20日（水）
・28日（木）・3月1日（金）
酒田河川国道事務所 平成25年2月19日（火）

※天候不順等により実施日が延長となりました。

○対象道路： 山形河川国道及び酒田河川国道が管理する一般国道
国道13号、国道47号、国道112号、国道113号

○点検箇所： 山形河川国道事務所 26箇所、酒田河川国道事務所 31箇所

○点検方法： 雪崩対策専門家及び職員による目視点検

○点検結果：（専門家による考察）
・現時点で雪崩が発生する可能性の高い箇所は無い。
・継続して目視点検を実施し、必要に応じて堆雪ポケットの確保、雪庇※の処理を実施する。

※雪庇（せっぴ）：風により、風下側に形成される庇（ひさし）形状の積雪。
大きくなりすぎると自らの重さで落下する。

<発表記者会：山形県政記者クラブ><酒田記者クラブ、鶴岡記者会>

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 山形河川国道事務所
TEL 023-688-8421（代表）
副所長（道路担当） 高橋 敏彦（内線205）
道路管理第二課長 山木 紀雄（内線441）

国土交通省 東北地方整備局 酒田河川国道事務所
TEL 0234-27-3331（代表）
副所長（道路担当） 伊藤 啓一（内線205）
道路管理課長 渡辺 信悦（内線431）

雪崩緊急点検実施結果について

山形県内の直轄国道沿線の累加降雪量は、いずれも過去5ヶ年平均を大きく上回る結果となっており、これからの時期は、気温の上昇や降雪等によっては雪崩が発生しやすい状況となります。

山形河川国道事務所と酒田河川国道事務所では、これまでの雪崩予防・防止対策として、雪崩防止柵等を設置するとともに、道路パトロールにより危険箇所の確認を実施しておりますが、今回雪崩対策の専門家と合同で危険箇所の点検を実施しましたので、点検結果をお知らせします。

山形県内の代表地点の累加降雪量（数値は各年とも2/28現在）

国道13号 尾花沢除雪ST	H25: 1, 246cm(5ヶ年平均 872cm)	H24: 1,361cm	H23: 910cm
国道47号 長沢除雪ST	H25: 1, 155cm(5ヶ年平均 804cm)	H24: 1,195cm	H23: 908cm
国道112号 湯殿山除雪ST	H25: 2, 203cm(5ヶ年平均 1,740cm)	H24: 2,112cm	H23: 1,638cm
国道112号 月山沢除雪ST	H25: 1, 793cm(5ヶ年平均 1,390cm)	H24: 1,850cm	H23: 1,415cm
国道113号 小国除雪ST	H25: 990cm(5ヶ年平均 728cm)	H24: 1,044cm	H23: 733cm



◆雪崩緊急点検実施結果

- 国道13号、国道47号、国道112号、国道113号における雪崩等の発生が懸念される斜面箇所を点検した結果、今回は雪崩発生の危険性が高い箇所はありませんでした。
- 早急に対策が必要な箇所はありませんでしたが、継続的に目視点検を実施し、雪崩予防策として堆雪ポケットの確保、雪底処理等の対策を行っていくこととしております。